

1 単元名 わたしは、なんでしょう

2 単元の目標

- (1) 出題したり、質問したりしながらクイズを楽しむことができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 当ててほしいものの特徴を聞き手に分かりやすく話すことができる。(話す・聞く)
- (3) 友達の話の大事なことを落とさないようにして、興味をもって聞くことができる。(話す・聞く)
- (4) 分からないことや詳しく聞きたいことを尋ねたり、それに答えたりすることができる。  
(話す・聞く)
- (5) 丁寧な言葉遣い、はっきりした発音で話すことができる。(言語)

3 単元について

児童は、日常的な話し方を生活の中で習得していく。しかし、日常会話とは違った形式の整った話し方の学習については系統立てて適切に支援していく必要がある。1月には、「おみせやさんごっこをしよう」の単元で、店員やお客になり、お互いのやりとりの中で品物を売ったり買ったりする経験をした。

本単元では、目的に応じて尋ねたり、応答したりする経験をすることで、正確に伝え合う力が高まることをねらっている。クイズ形式を取り入れることで、答える相手を想定して、より分かりやすい話し方について考えることができる。出題者は正しく伝えなければ問題が解けないし、解答者は、正確に聞き取り、聞き取ったことをふまえた上で、また質問をしなければならない。聞き手と話し手の立場が交互に入れ替わりながら、必要感をもって、コミュニケーションの力を高めていくことができると考える。また、児童はみんなの前に立ち、日頃友達としている話し言葉とは違った敬体で話す。改まった場での話し方を学び、丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気をつけて話すことができるようにしたい。

4 児童について

1年生の児童は、生活の中で新しい経験をする事が多く、新しい経験をするたびにそれを話したり聞いたりしたくなるものである。このクラスの児童も、朝のスピーチの時間には、自分の順番でないときにも、「話したいことがあります。」と言って最近あった楽しい出来事や友達と一緒に作った品物のことを話す子がいる。この時期をとらえ、「事柄の順序を考えながら話す」ことや「大事なことを落とさないで聞く」ことの能力を育成したい。

話すということは児童にとって、具体的な相手が必要な活動である。これまで児童は、生活科の「学校探検」「家のお仕事名人になろう」の学習で先生や家の人にインタビューをしたり、図工の作品をみんなの前で発表したりする経験をしている。本単元ではさらに、相手の考えを読み取ろうとしながら聞いたり、言葉のやりとりをしたりする楽しさを味わわせたい。児童はまだ、発表の仕方も話を聞くときの姿勢も十分ではない。この機会に再度よい話し方・聞き方について指導したい。

5 指導について

「話す・聞く」ことの指導の中で、今力を注いでいることは、自分の思いや考えを安心して話したくなるクラスを作るということである。話したくなるためには、自分の思いや考えを認め、受け入れてくれる友達がそこにいることが絶対条件になる。そこで、「まなざしで聞く」を繰り返しながら、聞き手を育てることでよい話し手を育てたいと考えた。温かな雰囲気の中でクイズ大会ができるようにしたい。

また、話したい・聞きたいという必要感もてる相手や内容・場面などを準備することも大切である。今回は友達の考えたクイズに答えるという点からも興味をもって話を聞いたり、質問をしたりできるのであろう。人前で話すことが苦手な児童にも取り組みやすいように、カードや実物を持ったり、はじめに言うことを紙に書いたりして抵抗感を少なくしたい。

6 指導計画（5時間配当）

時	学 習 内 容	ね ら い	関	調	書	読	言	評 価 規 準
1	「わたしはなんでしょう」ゲームのやりかたを知る。	ゲームの手順が分かり、「わたしはなんでしょう」ゲームに興味をもつ。	◎			○		（関心・意欲・態度） 興味をもってゲームのやり方を知ろうとしている
2	「わたしはなんでしょう」ゲームの問題を作る。	当ててほしいものの特徴をつかんで、問題をつくることができる。	◎		○			（関心・意欲・態度） 楽しんで問題を作ろうとしている
3	問題を出す練習をする。	声の大きさ・速さを考えながら出題の練習をすることができる。		◎			○	（話す・聞く） 聞き手に分かりやすいか考えながら、出題の練習をしている
4 （本 時）	「わたしはなんでしょう」ゲームをする。	友達に分かりやすい話し方で出題することができる。 友達の出す問題をよく聞いて質問したり、質問をよく聞いて適切に返答したりすることができる。		◎			○	（話す・聞く） 聞き手に分かりやすく出題する。 友達の問題をよく聞いて、質問する。（関心・意欲・態度） 「わたしはなんでしょう」ゲームに楽しく参加する。
5			○					

7 本時の目標

楽しくゲームに参加し、友達の出す問題をよく聞いて、質問したり、質問をよく聞いて適切に答えたりすることができる。

8 準備物

ものの特徴の視点の掲示用紙、相互評価用紙、発表・質問のしかたの掲示用紙、出題用紙（児童）

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）
たのしく「わたしはなんでしょう」ゲームをしよう	
<p>○話すとき・聞くとき・質問するときの約束を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさ</li> <li>・話す速さ</li> <li>・話すときの視線</li> <li>・言葉遣い</li> <li>・聞き方</li> <li>・質問のしかた</li> </ul> <p>○ゲームのやり方を確かめる。</p> <p>○グループでゲームをする。</p> <p>○グループ毎に相互評価を行う。</p> <p>○次時には、メンバーを変えてゲームをしたり、お家の人にも答えてもらったりすることを予告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくゲームを進めるためには、話し方や聞き方が大切であることを押さえ、事前に学習した「発表・質問の仕方」を提示しながら、思い出すようにする。</li> <li>・終わる時間に差が出るのが予想されるので、なかなか正解が出ない場合や早く終わってしまったときのアドバイスもしておく。</li> <li>・温かな雰囲気の中でゲームを行えるようにする。</li> <li>☆友達に分かりやすく話そうとしているか （発言・観察…話す・聞く）</li> <li>☆友達の出す問題をよく聞いて質問しているか。 （発言・観察…話す・聞く）</li> <li>・よいところと更によくするためのアドバイスを教え合うようにする。</li> <li>・次回のゲームでは本時に評価し合ったことを生かせるように、次時の期待感を高める。</li> </ul>